

韓国語の形式名詞 ‘것 (geos)’ と 日本語の形式名詞の対照研究

丁 仁 京*

1. はじめに

韓国語の形式名詞¹ ‘것 (geos)’ は、構造的な面からも機能的な面からも、日本語の「もの・こと・の」と類似していると言われ（宋承姫 2000、堀江 2005 など）、以下の「もの・こと・の」は、いずれも韓国語の形式名詞 ‘것 (geos)’ で訳される。

(1) a. 新しいものがいい。

b. 새로운 것이 좋다.

saelou-n _____ geos-i joh-da.²

新しい-ADN geos-NM いい-DEC

(2) a. ミスがないことを確認した。

b. 미스가 없는 것을 확인했다.

miseu-ga eobs-neun _____ geos-eul hwaginhae-aa-da.

ミス-NM ない-ADN geos-ACC 確認する-PST-DEC

* 福岡大学共通教育研究センター外国語講師

¹ 韓国語学では「依存名詞」「不完全名詞」とも呼ばれる。

² 韓国語ローマ字表記は、韓国文化観光部のローマ字表記法(第2000-8号)に従う。また、韓国語文献や例文の日本語訳は筆者による。

(3) a. 彼は雨が上がるのを待っている。

b. 그는 비가 {개는/갈} 것을 기다리고 있다.

geu-neun bi-ga {gae-neun/gae-l} geos-eul gidali-go iss-da.

彼-TOP 雨-NM 上がる-ADN geos-ACC 待つ-いる-DEC

しかし、韓国語の場合は‘것 (geos)’に先行する用言の連体形によって、その文の意味が異なる。例えば、(3)の場合、連体形-는 (n)を用いることも、-ㄴ (l)を用いることも可能である。-는 (n)を用いた場合は「雨が止むことになっている（あとは実際にそれが実現されるのを待つのみ）」という気持ちの発話になり、-ㄴ (l)を用いた場合には「いつ雨が止むかわからないが、雨が止むということを待っている」という気持ちの発話になる。このように、韓国語の場合は連体形語尾 (adnominalizer) の使い分けがあり、特に、‘것 (geos)’が文末表現として用いられる場合は、連体形語尾がその意味・機能に大きく関与している。

そこで本研究は、韓国語に複数存在する連体形語尾の使い分けを視野に入れ、韓国語の形式名詞‘것 (geos)’と日本語の形式名詞「もの・こと・の」と対照を行い、両言語の統語的・意味的な特徴を明らかにすることを目的とする。

2. 先行研究の概観

形式名詞‘것 (geos)’に関する従来の研究を見ると、そのほとんどが形式名詞全般に関する考察の中で扱われている。形式名詞‘것 (geos)’だけに焦点を当てた研究には、歴史的な観点からの研究が多く、特定の時代、とりわけ中世韓国語における‘것 (geos)’の意味を中心に論議が行われている(李崇寧 1975、李基白 1982、鄭鎬完 1987a, b、李周行 1988など)。そのため、意味・機能の変化には目を向けず、その結果としての形式名詞‘것 (geos)’の機能的な意味や意味・機能の変化に伴ってすでに成立している形式にのみ注目し論

じているものが多く、‘것 (geos)’ 諸形式の共時的研究は少ない。

文末に用いられる ‘것이다 (geosida)’ の形式については、分析的な構造を持って機能するものと、完全に一語化して機能するものとに分けることができる。分析的な構造を持っている ‘것이다 (geosida)’ については、日本語の「のだ」との対照研究においてスコープ機能があることが指摘されている (宋承姫 2000、崔眞姫 2005 など)。とは言え、指摘のみにとどまっており説明が不十分であった。一語化してモダリティ機能を担う ‘것이다 (geosida)’ については、‘것 (geos)’ に先行する連体形語尾の形式によって ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ と ‘-ㄴ 것이다 (l geosida)’ とに分けられる。韓国語のみを対象とする研究では、‘-ㄴ 것이다 (l geosida)’ について論じた研究が多く、洪起文 (1947) をはじめ、徐正洙 (1978) など多くの研究者によって記述がなされている。この ‘-ㄴ 것이다 (l geosida)’ は、「推量 (推測)」または「意志 (意図)」などの意味を表す形式として知られ、同様の意味を表すとされる先語末語尾 ‘-ㄴ (gess)-’ との比較に焦点が置かれている。一方、‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ について論じた研究は、‘-ㄴ 것이다 (l geosida)’ に関する研究ほど多くはないが、「断定」「強調」「当為」といった意味を表すとされる (南基心・高永根 1985、신선경 1993、안주호 1997 など)。しかし、近年日本語の「のだ」と ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ との対照研究が盛んに行われ、一定の成果を上げているが (李南姫 2001、宋承姫 2000、印省熙 2003、金廷珉 2008 など)、これら対照研究の多くは日本語の「のだ」の研究に沿う形で比較検討するという立場を取っているため、-ㄴ 것이다 (n geosida)’ に限定した意味上の研究であり、連体形 -ㄴ (n)、-ㄴ (l) 両形式を含めた考察ではないという点で狭いと言え、統語的な構造からの考察がなされていないため不十分である。

以上が形式名詞 ‘것 (geos)’ 及び諸形式に関する先行研究を概要であるが、従来の研究では、形式名詞 ‘것 (geos)’ に先行する連体形語尾との関連性についての言及がない点が大きな課題であると言える。形式名詞 ‘것 (geos)’

及び諸形式は、形式名詞‘것 (geos)’単独での分析は不可能であり、連体形語尾との関連から総合的に考察をしなければ真の理解ができないと考えられる。

そこで、本稿では韓国語に複数存在する連体形語尾の使い分けを視野に入れ、韓国語の形式名詞‘것 (geos)’を中心に、それに対応する日本語の形式名詞「もの・こと・の」との比較を通じて、両言語の統語的・意味的な相違を解明することを試みる。なお、本稿では連体形語尾を含めた形で考察を行うものであるが、このような考察手法は、従来の日韓対照研究には見られないものであり、この観点から考察することで類似点が多いとされる両言語の違いがより明確になると考える。

3. 日韓両言語の形式名詞の性質

形式名詞は、名詞の下位類の一つであり、それ自身では実質の意味を表さず、連体修飾語とともに用いられて名詞句を構成するものである。

本稿の考察対象は、韓国語の形式名詞‘것 (geos)’と日本語の「もの・こと・の」である。日本語の「もの」「こと」は独立の名詞としても用いられるが、形式名詞としても用いられる。「の」はもっぱら形式名詞として用いられ、先行する語（特に用言）を受けて全体を名詞化する。

- (4) a. ものを言う。／ことを起こす。
b. 新しいものがほしい。／新しいのがいい。
c. ミスがないことを確認する。／彼が来るのを待つ。

これに対し、韓国語の‘것 (geos)’は、「の」と同様、独立の名詞としては使えず、常に修飾語とともに用いられる。「指示詞+것 (geos)」は指示代名詞として用いられる（例 5c）。

(5) a. 새 것이 많다.³

sae geos-i manh-da.

新しい geos-NM 多い-DEC

新しいものが多い。

b. 서현의 것을 닮은 그의 웃음. (꿈)

Seohyeon-ui geos-eul dalm-eun geu-ui useum.

ソヒョンの もの-ACC 似る-ADN 彼の 笑み

ソヒョンのものに似ている彼の笑み。

c. 아직도 김치냉장고가 없다면 이 기회에 그것도 하나... (꽃)

ajig-do gimchi-naengjanggo-ga eobs-da-myeon i gihoe-e

今も キムチ冷蔵庫-NM NEG-DEC-たら この 機会に

geugeos-do hana...

それも 一つ

まだキムチ冷蔵庫がなかったら、この機会にそれも一つ。。。。

本稿では、(6) のように「用言連体形+것 (geos)」の形式で ‘것 (geos)’ が用いられる場合を考察対象とし、さらに、(6c. d) のように「用言連体形+것 (geos)+指定詞」が結合して文末モダリティ表現として機能する場合も考察対象に含む。日本語においても同様である。

(6) a. 오히려 우리에게 무서운 것은 없었다. (꿈)

ohilyeo uli-ege museou-n geos-eun eobs-eoss-da.

かえって 私達 怖い-ADN geos-TOP NEG-PST-DEC

³ ‘새 (sae)’ は、冠形詞 (日本語の連体詞に当たる) として体言の前に置かれる。

かえって私たちに怖いものはなかった。

b. 이렇게 떠나게 된 걸 용서하세요. (쩔)

ileoh-ge tteona-ge doe-n geo-l yongseoha-se-yo.

このように 離れる-ようになる-ADN geos-ACC 許す-IM-POL₂

このように離れるようになったことを許してください。

c. 담배는 건강에 해로운 것이다.

dambae-neun geongang-e haelou-n geos-i-da.

タバコ-TOP 健康-に 悪い-ADN geos-COP-DEC

タバコは健康に悪いものだ。

d. 아무도 우리가 여기 갇힌 줄 모를 거야. (꿈)

amu-do uli-ga yeogi gadhi-n ju-l

誰-も 私たち-NM ここ-に 閉じ込められる-ADN こと-ACC

moleu-l geo-ya.

知らない-ADN geos-COP-INT

誰も私たちがここに閉じ込められたことを知らないはずだ。

韓国語の‘것 (geos)’は、話しことばでは‘거 (geo)’となり、後続する助詞や指定詞‘이다 (ida)’(だ)と結びついて縮約形をつくることもある(表1、表2)。

【表1】‘것 (geos)’と助詞の結合

形式名詞	助詞	書きことば形	話しことば形
것 (geos)	은 (eun/は)	것은 (geos-eun)	건 (geo-n)
	이 (i/が)	것이 (geos-i)	게 (ge)
	을 (eul/を)	것을 (geos-eul)	걸 (geo-l)

【表 2】 ‘것이다 (geosida)’ 形式のバリエント

敬語体系 ⁴	書きことば形	話しことば形
格式体丁寧形	것입니다 (geos-i-bnida)	겁니다 (geo-bnida)
非格式体丁寧形	것이에요 (geos-i-eyo)	거예요 (geo-yeyo)
中立的丁寧形 ⁵	것이다 (geos-i-da)	거다 (geo-da)
非格式体非丁寧形	것이야 (geos-i-ya)	거야 (geo-ya)

4. 日韓両言語の形式名詞の機能

4.1 ‘것 (geos)’ と「もの・こと・の」

日本語の形式名詞「もの・こと・の」は、何らかの事物を指す「指示機能」と、用言や節を名詞化する「名詞化機能」がある⁶。韓国語の ‘것 (geos)’ もこの二つの機能を持つ。

- (7) 父が前から欲しかったものを買ってくれた。
- (8) 5年前に買った自転車が壊れたので、新しいのを買うつもりだ。
- (9) 入社して2年になるが、まだまだ分からないことが多い。

上記の (7)~(9) は指示機能を持っている。日本語の「もの」は、目や耳などの五官で捉えることのできる具体的な固体を指す (森田 1980、寺村 1984)。また、「の」が事物を指示する場合は、物を指す代名詞として用いられる。また、「こと」の実質的な意味は、事件、事態、事情など、人間生活の中で時間の推移とともに発生し、変化し、存在する現象を表す (原田・小谷 1990 :

⁴ 韓国語の敬語体系については、梅田 (1977)、국립국어원 (2005:222-224)、野間 (2012b) などを参照されたい。

⁵ 中立的丁寧形は、新聞や雑誌、小説など印刷物でよく用いられるが、特定の個人を対象に述べるものではないため、丁寧さは表さず、中立である。

⁶ 韓国語学では「代用」とみなす見解もあるが (김기혁 2000 など)、本稿では「指示」と称する。

13)。(7)の「もの」は何らかの形ある存在、すなわち「カバン」や「パソコン」など具体的なものを表し、(8)の「の」は「自転車」を、(9)の「こと」は、事柄の内容、すなわち抽象的な事柄を表す。

(10) 彼が犯人であることを知っている。

(11) 太郎が走っているのを見た。

(10) (11) は名詞化機能を持っており、(10)のように「こと」で節を名詞化する場合は「抽象化された概念」を表す(久野 1973、Josephs 1976 など)。また、(11)のように「の」で節を名詞化する場合は「具体的な動作・状態・出来事」を表す(久野 1973、Josephs 1976 など)。

このように、日本語では意味や機能によって「もの・こと・の」が使い分けられるが、韓国語ではいずれの場合も‘것 (geos)’が用いられる。次の(12) (13)は‘것 (geos)’が指示機能を有する場合であり、(14)~(16)は名詞化機能を有する場合である。

(12) 한발짝씩 내딛자, 그 보드라운 사이로 뽀족뽀족한 것이 찢러왔다. (꽃)

hanbaljjag-ssig naedid-ja, geu bodeulau-m sai-lo ppyojogppyogha-n

一歩-ずつ 踏み出す-と その 柔らかい-NOM 間-からとがっている-ADN

geos-i jjilleowa-ss-da.

geos-NM突き刺さる-PST-DEC

一歩ずつ踏み出すと、その柔らかさの間からとがっているもの (小石)が突き刺さってきた。

(13) 5년 전에 산 자전거가 고장나서, 새로운 것을 살 생각이다.

5-nyeon jeon-e sa-n jajeongeo-ga gojangna-seo,

5-年 前-に 買う-ADN 自転車-NM 壊れる-ので

saelou-n geos-eul sa-l saengga-i-da.

新しい-ADN geos-ACC 買う-ADN 考え-COP-DEC

5年前に買った自転車が壊れたので、新しいのを買うつもりだ。

- (14) 입사한 지 2년이 됐는데, 아직도 모르는 것이 많다.

ibsaha-n ji 2-nyeon-i dwae-ss-neunde, ajig-do moleu-neun geos-i

入社する-ADN から 2年-NM なる-PST-けど 今-も 分からない-ADN geos-NM

mang-da.

多い-DEC

入社して2年になるけど、まだまだ分からないことが多い。

- (15) 이렇게 떠나게 된 걸 용서하세요. ((6b) 再掲)

ileoh-ge tteona-ge doe-n geo-l yongseoha-se-yo.

このように 離れる-ようになる-ADN geos-ACC 許す-IM-POL₂

このように離れるようになったことを許してください。

- (16) 경지는 규혁의 입이 벌어지는 것을 가만히 쳐다보았다. (햄)

Gyeongji-neun Gyuhyeog-ui ib-i beoleoji-neun geos-eul gamanhi

キョンジ-TOP キュヒョク-の 口-NM 開く-ADN geos-ACC じっと

chyeodabo-ass-da.

見つめる-PST-DEC

キョンジはキュヒョクの開いた口が塞がらないのをじっと見つめた。

また、形式名詞が用いられる構文の一つに、一つの文を前提部分と焦点部分とに分ける分裂文(強調構文)がある。分裂文を作る際には、韓国語では‘것 (geos)’、日本語では「の」が用いられる。

- (17) a. 라라의 죽음을 전한 건 김이었다. (꿈)

Lala-ui jugeot-eul jeonha-n geo-n Kim-i-eoss-da.

ララの 死-ACC 伝える-ADN geos-TOP キム-COP-PST-DEC

b. ララの死を伝えたのはキムだった。

(18) a. 주로 떠드는 건 나왔다. (꿈)

ju-lo tteodeu-neun geo-n na-yeo-ss-da.

主にしゃべる-ADN geos-TOP 私-COP-PST-DEC

b. 主にしゃべるのは私だった。

日本語と韓国語の「形式名詞+指定詞(だ/이다 (ida))」の形式は、(19)(20)のように分析的な形で文末のモダリティ表現として機能することもある⁷。モダリティ表現については5節で取り上げる。

(19) a. 태어난 이상 누구나 죽는 거야. (삼)

taeona-n isang nuguna jug-neun geo-ya.

生まれる-ADN 以上 誰もが 死ぬ-ADN geos-COP-INT

b. 生まれた以上、誰もが死ぬもんだよ。

(20) a. 다른 사람 일에 알가불가 말하지 않는 것이다.

daleu-n salan il-e walgabulga malha-ji anh-neun geos-i-da.

違う-ADN 人 こと-に とやかく 言う-NEG-ADN geos-COP-DEC

b. 人のことにとやかく言わないことだ。

4.2 韓国語の用言連体形

前述のように、本稿では「用言連体形+것 (geos)」の形式で‘것 (geos)’が用いられる場合を考察対象とする。日本語では、「健康だ→健康な人」のよ

⁷ 野間 (2012a : 77-88) によれば、「分析的な形」は「2単語に分析されているながら1つの文法的な働きを担う」ものとされる。詳しくは、野間 (2012b : 255) や菅野 (1981) などを参照されたい。

うなナ形容詞を除き、用言の連体形は基本形と同じ形であるが、韓国語では用言の基本形と連体形は異なる形式をとる。加えて、次の【表3】のように連体形語尾に複数の種類がある⁸。

【表3】用言による連体形語尾の現れ方⁹

	動詞	存在詞	形容詞	指定詞
過去連体形	-ㄴ (n)	-던 (deon)		
現在連体形	-는 (neun)		-ㄴ (n)	
未来連体形	-ㄹ (l)			

韓国語教育では各連体形は上記の名称で呼ばれるが、連体形語尾を形態論的にどう分析するかについては、次の三つの立場がある¹⁰。

- ① -던 (deon)、-ㄴ (n)、-는 (neun)、-ㄹ (l) の四つを連体形語尾とする立場
- ② -ㄴ (n)、-는 (neun)、-ㄹ (l) の三つを連体形語尾とする立場（‘-던 (deon)’ は‘先語末語尾 -ㄷ (deo)-+-ㄴ (n)’ と分析）
- ③ -ㄴ (n)、-ㄹ (l) の二つを連体形語尾とする立場（‘-던 (deon)’ は‘先語末語尾 -ㄷ (deo)-+-ㄴ (n)’、‘-는 (neun)’ は‘先語末語尾 -는 (neu)-+-ㄴ (n)’ と分析）

連体形語尾の意味機能についても、テンズ的なものと見る立場、アスペクト的なものと見る立場、ムード的なものと見る立場がある。

本稿では、連体形語尾の体系については③の立場に立ち、-ㄴ (n) と -ㄹ (l)

⁸ 韓国の韓国語学では「冠形詞形語尾」と呼ばれるが、本稿では「連体形語尾」と称する。

⁹ 連体形語尾 -ㄴ (n) と -ㄹ (l) は、用言の語幹が子音で終わる場合は -은 (eun)、-을 (eul) で、母音で終わる場合は -ㄴ (n)、-ㄹ (l) で現れる。本稿では、-은 (eun) と -ㄴ (n)、-을 (eul) と -ㄹ (l) は音韻論的異形態として、-ㄴ (n) と -ㄹ (l) で代表して表記する。

¹⁰ 連体形語尾に関しては、李南淳 (1981)、南基心 (1978)、任洪彬 (1982)、허웅 (1987)、金完鎮 (1957)、沈在箕 (1979)、徐泰龍 (1980)、張京姬 (1985)、최동주 (1995)、丁 (2012)、中島 (2012)、などを参照されたい。

が「現実 (realis)」「非現実 (irrealis)」というムード的な対立をなすと考える。「現実」とは「すでに実現したこと、直接知覚を通じて認識可能な今起っていることを実際の状況として描写するもの」であり、「非現実」とは「想像を通じて認識が可能な思考の領域内に存在する状況として描写するもの」である (Mithun, M 1999:173)¹¹。近年の韓国語研究においては、この「現実・非現実」の概念を用いて、-ㄴ (n) 連体形と -ㄴ (1) 連体形の対立を記述する研究が多い。例えば、Lee, H. S. (1991) は、-ㄴ (n) を現実の状況を表す現実連体形、-ㄴ (1) を基準時にはまだ起こっていないが、その後すぐ起こる状況を表す非現実連体形とする。문숙영 (2009)、박재연 (2009)、임동훈 (2008, 2009)、丁 (2010, 2012, 2014) も、-ㄴ (n) 連体形と -ㄴ (1) 連体形の意味を「現実」と「非現実」の対立として捉えている。

連体形における -ㄴ (n) と -ㄴ (1) の使い分けは、「用言連体形+ㄷ」の意味や機能について考える場合にも重要である。次の 4.3 節ではその点について述べる。

4.3 「用言連体形+ㄷ (geos)」の機能

‘ㄷ (geos)’ は、指示機能・名詞化機能いずれの場合も、基本的には節の内容が現実の事柄であれば ‘-ㄴ ㄷ (n geos)’ の形で、非現実の事柄であれば ‘-ㄴ ㄷ (l geos)’ の形で用いられる。

次の例では、すでに実現したこと (例 21)、今起っていること (例 22, 23, 24)、繰り返し起っていること (例 25) などを表すのに、‘-ㄴ ㄷ (n geos)’ が用いられている。いずれも現実の事柄と言えるものである。

¹¹ 「現実 (realis)・非現実 (irrealis)」という概念は、北アメリカ先住民の言語や Papua 語などで表れる文法範疇の対立を記述するために導入された概念である。詳しくは、Chafe W. (1995)、Mithun, M. (1995, 1999)、Palmer, F. (2001) などを参照されたい。

- (21) 대형 슈퍼마켓에서 산 고기가 시장에서 산 것보다 더 연했다. (꽃)
 daehyeong syupeomakes-eseo sa-n gogi-ga sijang-eseo sa-n
 大型 スーパーで 買う-ADN 肉-NM 市場で 買う-ADN
geos-boda deo yeonhae-ss-da.
 geos-より さらに 柔らかい-PST-DEC
 大型スーパーマーケットで買ったお肉が市場で買ったものよりさらに柔
 らかかった。
- (22) 나는 가게가 한가한 걸 보고서 카페를 나왔다. (꿈)
 na-neun gage-ga hangaha-n geo-l bo-goseo kkape-leul nawa-ss-da.
 私-TOP 店-NM 暇-ADN geos-ACC 見る-から カフェ-ACC 出る-PST-DEC
 私はお店が暇なのを見てカフェを出た。
- (23) 경지는 규혁의 입이 벌어지는 것을 가만히 쳐다보았다. ((16)再掲)
 Gyeongji-neun Gyuhyeog-ui ib-i beoleoji-neun geos-eul gamanhi
 キョンジ-TOP キュヒョクの 口-NM 開く-ADN geos-ACC じっと
 chyeodabo-ass-da.
 見つめる-PST-DEC
 キョンジはキュヒョクの開いた口が塞がらないのをじっと見つめた。
- (24) 슬픔이 용암처럼 끓고 있는 게 느껴졌다. (꿈)
 sulpeum-i yongam-cheoleom kkeulh-go iss-neun ge neukkyeojyeo-ss-da.
 悲しみ-NM 溶岩-ように 沸く-いる-ADN geos-NM 感じられる-PST-DEC
 悲しみが溶岩のように沸いているのが感じられた。
- (25) 저도 매일 밖에서 먹는 게 아주 지겹습니다.
 jeo-do maeil bakk-eseo meog-neun ge aju jigyeob-subnida.
 私-も 毎日 外で 食べる-ADN geos-NM とてもいやだ-POL₁
 私も毎日外で食べることがとてもいやになります。

次の (26)~(29) では、まだ起きていない非現実の事柄を表すのに ‘-ㄴ 것 (l geos)’ が用いられている。

(26) 애들 먹일 걸 왜 손 대! (짚)

ae-deul meogi-l_____geo-l wae son dae!

子供達 食べさせる-ADN geos-ACC 何 手 付ける-INT

子供たちに食べさせるものに何で手を付けるの!

(27) 내일 입을 것 좀 챙겨 줄래?

naeil ib-eul_____geos jom chaenggy-eo ju-l-lae?

明日 着る-ADN geos ちょっと 取りまとめる-くれる-ADN-FIN-INT-Q

明日着るものをちょっとまとめておいてくれる?

(28) 결국 그녀는 미쳐버릴 게 틀림없다. (함)

gyeolgug geunyeo-neun michyeobeoli-l_____ge teullim-eobs-da.

結局 彼女-TOP 狂ってしまう-ADN geos-NM 間違い-NEG-DEC

結局彼女は狂ってしまうことに間違いない。

(29) 북한은 속히 잘못을 시인하고 다시 국제사회의 책임있는 일원으로, 같은 민족으로 화해의 조치를 취할 것을 간절히 바랍니다.¹²

Bughan-eun soghi jalmos-eul siinha-go dasi gugjesahoe-ui

北朝鮮-TOP 早く 誤り-ACC 認める-て 改めて 国際社会-の

caegim-iss-neun ilwon-eulo, gat-eun minjog-eulo hwahae-ui jochi-leul

責任-ある-ADN 一員-として 同じ-ADN 民族-として 和解-の 措置-ACC

chwiha-l_____geos-eul ganjeol-hi bi-bnida.

取る-ADN geos-ACC 切実に 願う-POL₁

北朝鮮は早く誤りを認めて、改めて国際社会の責任ある一員として、

¹² <http://blog.daum.net/kimfrancois/7700475> (アクセス日 2010. 06. 01)

同じ民族として和解の措置を取ることを切実に祈ります。

現実の事柄であっても、その事柄が非現実であるべきだということを述べる場合には、非現実を表す ‘-ㄴ 것 (l geos)’ が用いられる。(30) では、「他人の話をした」という過去の事柄に対して「そのような必然性はなかった」ということを述べるために、また (31) では、「迷っている」という現在の事柄に対して、反語表現を用いて「そのような必然性はない」という気持ちを表すために、‘-ㄴ 것 (l geos)’ が用いられている。

(30) 남의 이야기 할 것 없었다. (끝)

nam-ui iyagi ha-l _____ geos eobs-eoss-da.

他人の 話 する-ADN geos NEG-PST-DEC

他人の話をすることはなかった。

(31) 경지 씨, 망설일 거 뭐 있어요? (햄)

Gyeongji ssi, mangseol-i-l _____ geo mwo iss-eoyo?

キョンジ さん 迷う-COP-ADN geos 何 ある-POL₂-Q

キョンジさん、迷うことなんかありますか。(ないでしょう。)

(30) (31) のように「行為の実行が不必要だ」という話し手の判断を表す場合は、日本語では「ル形+こと」が用いられる。

(32) あんな人の発言なんか、気にすることないよ。

(日本語記述文法研究会 2003 : 126)

(33) 東京へ行くことはない。 (吉川 2003 : 44)

「用言連体形+것」がモノを総称的に表す場合、形容詞は「단 것 (da-n

geos/ 甘い物) = 과자 (gwaja/ 菓子)」、 「매운 것 (maeu-n geos/ 辛い物) = 매운 음식 (maeu-n eumsig/ 辛い食べ物)」 のように ‘-ㄴ 것 (n geos)’ の形をとるが (例 34)、動詞は 「마실 것 (masi-l geos/ 飲み物) = 음료 (eumlyo/ 飲料)」、 「먹을 것 (meog-eul geos/ 食べ物) = 음식 (eumsig/ 食べ物)」 のように ‘-ㄴ 것 (l geos)’ の形をとる (例 35)。

(34) a. 갑자기 단 것이 먹고 싶어진다. (꽃)

gabjagi da-n geos-i meog-go sip-eoji-n-da.
 急に 甘い-ADN geos-NM 食べる-たい-なる-PRE-DEC
 急に甘い物が食べたくなるな。

b. 가끔은 매운 것이 좋다.

gakkeum-eun maeu-n geos-i joh-da.
 たまに-TOP 辛い-ADN geos-NM よい-DEC
 たまには辛い物がよい。

(35) a. 가정부가 유리컵에 마실 것을 담아 내왔다. (꽃)

gajeongbu-ga yulikeob-e masi-l geos-eul dam-a naewa-ss-da.
 家政婦-NM ガラス컵に 飲む-ADN geos-ACC 入れる-出す-PST-DEC
 家政婦がガラスのコップに飲み物を入れて持ち出した。

b. 아버지는 대답했지. 먹을 건 널려 있고 아이들은 일 같은 건 안 하고 노는 그런 곳이라고. (꽃)

abeoji-neun daedabhae-ss-ji. meog-eul geo-n neolly-eo iss-go
 父-TOP 答える-PST-FIN-INT 食べる-ADN geos-TOP 満ち溢れる-いる-
 ai-deul-eun il gat-eun geo-n an ha-go no-neun
 子供-達-TOP 仕事 よう-ADN geos-TOP NEG する-て 遊ぶ-ADN
 geuleon gos-i-lago.
 そんな 所-COP-と

お父さんは答えたんだ。食べ物は満ち溢れていて子供たちは仕事のようなことはしないで遊ぶ、そんな所だと。

「形容詞+것 (geos)」が総称的に用いられる場合、形容詞はモノが本来的に持っている属性を表す。これは現実の属性であるため、現実を表す -ㄴ (n) 連体形が用いられる。一方、「動詞+것 (geos)」が総称的に用いられる場合は、「飲む物=飲むための物」、「食べる物=食べるための物」というように、動詞が「目的・用途」を表す。動詞が表す動作・変化は時間の流れの中で実現されるものであり、動詞が「目的・用途」を表す場合は単なる概念としての動作・変化を表すだけであるため、非現実を表す -ㄴ (1) 連体形が用いられる。

以上4節では、日韓両言語の形式名詞の機能について考察を試みた。日本語の「もの・こと・の」と韓国語の ‘것 (geos)’ は、指示機能と名詞化機能を持つ。一方、日本語は、その表す事柄が「具体的」か「抽象的」かによって形式名詞を使い分ける。韓国語は、「具体的」「抽象的」という捉え方ではなく、「現実」「非現実」を基準にした捉え方をしており、事柄が「現実」「非現実」であるかは、‘것 (geos)’ に先行する連体形語尾の形式によって表されるのである。

5. 文末形式「形式名詞+指定詞」の機能

「形式名詞+指定詞 (だ/이다 (ida))」形式は、分析的な形で文末表現として、‘것이다(geosida)’、「ものだ・ことだ・のだ」のように現れる。

韓国語の「用言連体形+것 (geos)」における -ㄴ (n) 連体形と -ㄴ (1) 連体形の選択がより重要な意味を持つのは、‘것 (geos)’ が文末でモダリティ表現の構成要素として用いられる場合である。ここでは、韓国語の文末形式 ‘것이다(geosida)’ を中心に、5.1、5.2では ‘-ㄴ 것이다(n geosida)’ について、5.3では ‘-ㄴ 것이다 (1 geosida)’ について述べ、それぞれの形式に対応する

日本語の文末形式を取り上げ、考察を進める。

5.1 スコープ機能を担う ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’

韓国語の ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ は、日本語の「のだ」に相当する表現である。「のだ」に関しては、野田（1997）など多くの研究で、スコープ機能を担う場合とモダリティ機能を担う場合があることが指摘されているが、それは韓国語の ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ についても同じである。ここではまずスコープ機能を担う ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ について見る。

スコープ (scope) は肯定、否定、疑問などの作用が及び得る範囲であり、その作用の対象となる特定の部分を焦点 (focus) という。野田（1997）は、久野（1983）の主張をふまえ、「のだ」の機能の本質は文を名詞文に準じる形に変えることにありとし、スコープの「のだ」については、述語以外の要素にまでスコープを拡大するために「の」を用いて命題部分を名詞化すると説明している。例えば否定文では通常、述語部分が否定のスコープに含まれる。次の (36b) が不自然なもの、述語以外の部分である「悲しいから」が否定のスコープに含まれず、「悲しいことが理由で、泣かなかった」という意味になるからである。「悲しいから」を否定の焦点にするためには、「悲しいから泣いた」全体を「の」を用いて名詞化し、「悲しいから」が否定のスコープに含まれるようにする必要がある。

(36) a. [悲しいから泣いた] のではない。

b. ?悲しいから [[泣か] なかった]。

(野田 1997 : 33、下線と鍵括弧は筆者)

韓国語の ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ についても、日本語の「のだ」と同様のスコープ機能があることが指摘されている（宋承姫 2000、崔眞姫 2005、丁

2008, 2012)。次の (37)～(39) では、‘것 (geos)’ でその前の命題全体を名詞化し、述語以外の部分を肯定や否定のスコープに含めた上で、スコープ内の要素である「お前に」「働きに」「あなたが着ているから」を、肯定や否定の焦点にしている。

(37) a. お前に聞いてるんだ。 (野田 1997 : 30)

b. 너한테 묻고 있는 거야.

neo-hante mud-go iss-neun geo-ya.

お前に 聞く-いる-ADN geos-COP-INT

(38) a. 너는 여기 일하러 온 게 아니다. (丁 2008 : 34)

neo-neun yeogi ilha-leo o-n ge ani-da.

君-TOP ここに 働きの-に 来る-ADN geos-NM NEG-DEC

b. 君はここに働きの来たのではない。

(39) (自分のことを褒めずに、服ばかりを褒める相手に対しての発話)

A : 나는 없고 옷만 있어? (멋)

na-neun eobs-go os-man iss-eo?

私-TOP NEG-て 服-だけ ある-INT-Q

私はいなくて服だけあるの?

B : 무슨 섭섭한 소리를 해. 당신이 입으니까 옷도 빛나는 거야.

museum seobseobha-n soli-leul hae. dangsin-i ib-eunikka

何 さびしい-ADN こと-ACC する-INT あなた-NM 着る-から

os-do bichna-neun geo-ya.

服-も 輝く-ADN geos-COP-INT

何さびしいこと言うの。あなたが着ているから服も輝くのよ。

スコープ機能を有する「のだ」と ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ は、命題の一

部を焦点とする点で分裂文と同様の機能を有し、焦点となる部分は対比性を持つ。そのため、次のように対比の文脈で用いられることも多い¹³。

(40) 罪を犯した人の多くは、罪をつぐないたいから懺悔するのではなく、
報いを受けたくないから懺悔するのである。（野田 1997 : 153）

(41) 이걸, 수평에서 일어나는 것이 아니라 수직적으로 일어나는 거야. (긴)
igeo-n supyeong-eseo ileona-neun geos-i ani-la sujigjeog-eulo
これ-TOP 水平で 起きる-ADN goes-NM NEG-て 垂直的に
ileona-neun geo-ya.
起きる-ADN geos-COP-INT
これは、水平で起きるのではなく垂直的に起きるのだ。

5.2 モダリティ機能を担う ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’

次に、モダリティ機能を担う ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ は、現実の事柄に対する「説明」を表す¹⁴。(42) では、発話現場にある服に対する説明を述べるのに ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ が用いられている。また、(43) では、「30分も経たないうちに景福宮を出なければならなかった」ことの背景事情が説明されている。

(42) (今着ている服はどこブランドなのかという質問に)

¹³ 野田 (1997 : 153-154) は、ティノコ、アントニオ・ルイズ (1988) の「ではなく」の考察を参考に、「のではなく～のだ」文は従属節に関しては事態の成立以外の部分を焦点とした否定を表すとしている。そして、その否定の焦点になった部分で従属節の事態と対立する事態を主節に示し、肯定するものであり、従属節の事態と主節の事態は相互除外的になりやすいとまとめている。

¹⁴ 本稿では、「モダリティ」については、中右 (1994) の「発話時点における話し手の心的態度」とし、「発話時点における話し手の心的態度」が示された文のみを扱う。なお、モダリティそのものの議論には立ち入らない。

이거? 세일 때 산 거야. (꽃)

igeo? seil ttae sa-n geo-ya.

これ-Q セール 時 買う-ADN geos-COP-INT

これ、セールの時買ったんだ。

- (43) 우리는 30 분도 안되어 경복궁을 나와야 했다. 문을 닫을 시간이었
던 것이다. (열)

uli-neun 30-bun-do an-doe-eo Gyeongboggung-eul nawa-ya

私達-TOP 30-分-も NEG-経つて 景福宮-ACC 出る-なければ

hae-ss-da. mun-eul dad-eul sigan-i-eoss-deon geos-i-da.

ならない-PST-DEC 門-ACC 閉める-ADN 時間-COP-PST-ADN geos-COP-DEC

私たちは 30 分も経たないうちに景福宮を出なければならなかった。

門を閉める時間だったのだ。

次の (44) (45) も、事実を説明的に述べるのに ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ が用いられている。これらの文は、‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ がなくても「我が国は今日を以って自主国家になった」、「10 回の挑戦の末について成功した」という事実を述べていることに変わりはないが、説明の形で述べることによって話し手の主観的判断であると解釈されやすく、「強調」、「断定」といった意味が加わる。

- (44) 우리 나라는 오늘로서 자주국가가 된 것이다. (신선경 1993 : 119)

uli nala-neun oneul-loseo jajugugga-ga doe-n geos-i-da.

我々 国-TOP 今日-で 自主国家-NM なる-ADN geos-COP-DEC

我が国は今日を以って自主国家になったのだ。

- (45) 10 번 도전 만에 드디어 성공한 것이다. (안주호 1997 : 127)

10-beon dojeon man-e deudieo seonggongha-n geos-i-da.

10回 挑戦 末に ついに 成功する-ADN geos-COP-DEC
10回の挑戦の末について成功したのだ。

日本語の「のだ」は、原因や理由の「説明」(例46)や、話し手の主張を「強調」(例47)するときなどに使われる。上記の(42)~(45)の ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ 文は、全て「のだ」が対応されている。

(46) 道路が渋滞している。きっとこの先で工事をしているのだ。

(47) 誰が反対しても僕はやるんだ。

また、モダリティ機能を担う ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ は、相手に教え諭すという気持ちで、「世界」や「世の中」の一般則について説明する場合にも用いられる。日本語では、「ものだ」「ことだ」となる。

(48) 태어난 이상 누구나 죽는 거야. ((19a) 再掲)

taeona-n isang nuguna jug-neun geo-ya.

生まれる-ADN 以上 誰もが 死ぬ-ADN geos-COP-INT

生まれた以上、誰もが死ぬもんだよ。

(49) 담배는 건강에 해로운 것이다. ((6c) 再掲)

dambae-neun geongang-e haelou-n geos-i-da.

タバコ-TOP 健康-に 悪い-ADN geos-COP-DEC

タバコは健康に悪いものだ。

(50) 다른 사람 일에 왈가불가 말하지 않는 것이다. ((20a) 再掲)

daleu-n salan ile- walgabulga malha-ji anh-neun geos-i-da.

違う-ADN 人 こと-に とやかく 言う-NEG-ADN geos-COP-DEC

人のことにとやかく言わないことだ。

(51) 赤ん坊は泣くものだ。

(52) 早く治りたいのなら、あまり無理をしないことだ。

(日本語記述文法研究会 2003 : 226)

以上のように、韓国語の ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ は強調や背景事情、教え諭しなどの意味・用法をもっているが、「説明」として括られることができる。これらは、いずれもが現実の事柄に対する話し手の判断・態度を説明するもので、‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ の文全体は確実な情報を表す形式である。その事柄の捉え方がどうであるかを日本語は「説明のモード」(寺村 1984) とされる「ものだ」「ことだ」「のだ」という幾つかの形式で表すが、韓国語では一つの形式が担い、文脈で様々に解されるのである。

一方で、日本語の「ものだ」「ことだ」「のだ」は、個々の形式が担う意味・用法が多様であり¹⁵、そのすべての意味・用法を ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ がカバーするわけではない。例えば、次のような「ものだ」「のだ」の用法は ‘-ㄴ 것이다 (n geosida)’ にはない。

(53) a. 月日が経つのは早いものだ。 [感慨]

b. 세월이 빠르군.

sewol-i ppaleu-gun.

月日-NM 早い-gun-INT

(54) a. 二人でよく遊んだものだ。 [回想]

b. 둘이서 자주 놀았었지.

dul-iseo jaju nol-ass-eoss-ji.

二人-で よく 遊ぶ-PST-REM-ji-INT

¹⁵ 日本語の「ものだ」「ことだ」「のだ」については、久野 (1973)、寺村 (1984)、田野村 (1990, 1993)、佐治 (1991, 1993)、坪根 (1994, 1995)、野田 (1997) などを参照されたい。

(55) a. そうか、このスイッチを押すんだ。 [発見] (野田 1997 : 67)

b. 그렇구나, 이 스위치를 누르는구나.

geuleoh-guna, i seuwichi-leul nuleu-neun-guna.

そうだ-guna-INT この スイッチ-ACC 押す-ADN-guna-INT

(56) a. 僕、明日は来ないよ。用事があるんだ。 [理由・事実の説明]

(野田 1997 : 67)

b. 나, 내일은 안 와. 볼일이 있거든.

na, naeil-eun an wa. bolil-i iss-geodeun.

私 明日-TOP NEG 来る-INT 用事-NM ある-geodeun-INT

(53)~(56) のようなモダリティ性が高い話し手の感情・気持ちの表明、及び今この場で初めて認識した事柄や聞き手が知り難い既定事実を提示する場合は、‘-구나/군 (guna/gun)’ (ものだ・ね・な) や ‘-지 (ji)’ (ものだ・な)、‘-거든 (geodeun)’ (のだ (よ)・からね) などが対応する。

5.3 モダリティ機能を担う ‘-ㄷ 것이다 (l geosida)’

モダリティ機能を担う ‘-ㄷ 것이다 (l geosida)’ は、第三者に関する事柄について用いられた場合は「推量」を表し、話し手 (あるいは聞き手) の動作について用いられた場合は「意志」を表す。

(57) (58) は、自分の経験や状況、他人から聞いた情報などから推論される帰結を述べる文である。帰結は未実現あるいは未確認の事柄であるため、非現実の-ㄷ (1) 連体形を含む ‘-ㄷ 것이다 (l geosida)’ が用いられる。日本語では「(こと) だろう」「はずだ」のように訳される。

(57) 경지가 잠을 잔 시간은 아마 네 시간 정도 밖에 안 될 것이다. (햄)

Gyeongji-ga jam-eul ja-n sigan-eun ama ne sigan jeongdo

キョンジ-NM 眠り-ACC 寝る-ADN 時間-TOP 多分 四 時間 程度
bagge an doe-l _____ geos-i-da.

しか NEG なる-ADN geos-COP-DEC

キョンジが寝た時間はたぶん4時間程度にしかならないだろう。

- (58) 아무도 우리가 여기 갇힌 줄 모를 거야. ((6d) 再掲)

amu-do uli-ga yeogi gadhi-n ju-l

誰-も 私たち-NM ここ-に 閉じ込められる-ADN こと-ACC

moleu-l _____ geo-ya.

知らない-ADN geos-COP-INT

誰も私たちがここに閉じ込められたことを知らないはずだ。

(59) では、「誰かがジェミョンを苛める」という仮定のもとで、「友達が懲らしめてくれる」という帰結が成立することを推論している。仮定のもとでの帰結であるため、非現実の-ㄷ (1) 連体形を含む ‘-ㄷ 것이다 (1 geosida)’ が用いられる。この場合も、日本語では「(こと) だろう」「はずだ」のように訳される。

- (59) 아줌마, 염려 마세요. 누가 재명이 괴롭히면 친구들이 혼내줄 거예요. (ㄱ)

ajumma, yeomleyo ma-se-yo. nu-ga Jaemyeongi goelobhi-myeon

おばさん 心配 やめる-IM-POL₂ 誰か-NM ジェミョン 苛める-ば

chingu-deul-i honnae-eo ju-l _____ ge-ye-yo.

友人達-NM こらしめる-くれる-ADN geos-COP-POL₂

おばさん、心配しないでください。誰かがジェミョンを苛めれば、友人達が懲らしめてくれる (こと) でしょう (懲らしめてくれるはずです)。

(60) では、「入隊を決心した」という過去の事実をふまえて、その背景事情を推論している。過去のことを推量する場合、過去を表す ‘-었 (eoss)-’ と非現実の -ㄷ (1) 連体形が組み合わされる。日本語では「のだろう」「ということだろう」のように訳される。

(60) 반론을 제기하고, 싸우고, 그런 건 너무 힘든 일이다. 대체로 재이와 金도, 그런 이유로 입대를 결심했을 것이다. (비)

banlon-eil jegiha-go, ssau-go, geuleo-n geo-n neomu
反論-ACC 提起する-て 戦う-て そのようだ-ADN こと-TOP あまり
himdeu-n il-i-da. daechelo Jaei-wa Kim-do geuleo-n iyu-lo
辛い-ADN こと-COP-DEC おおかた ジェイ-と 金-も そのようだ-ADN 理由-で
ibdae-leul gyeolsimhae-ss-eul geos-i-da.

入隊-ACC 決心する-PST-ADN geos-COP-DEC

反論を提起して、戦って、そんなことはあまりにも荷が重いことだ。
おおかたジェイとキムも、そんな理由で入隊を決心したのだろう。

日本語の推量表現「だろう」は、日本語の概言的表現の中で「自分はこう考える」という感じが一番強く、最も主観的であり、推量の根拠となるのは、普通は自分のこれまでの経験、知識の総合である(寺村 1984:226-231)。「はずだ」は、ある事柄の真否について判断を求められたとき、あるいは自分で判断を下すべき場面に直面したとき、確言的に言えないが、自分が現在知っている事実(P)から推論すると、当然こう(Q)である、ということを使うときに使われるのが普通の使い方であるが、既定の事実を説明する用法もある(寺村 1984:266)。

次の(61)(62)は、すでに確定している話し手の意志や決意を表明する文である。聞き手のあるなしに関係なく用いられ、話し手自身の強い意志を述べ

る。(62) は、聞き手がない場合であり、(63) は、聞き手の意志を問いかける文である。日本語では「つもりだ」「動詞のル形」で訳される。

(61) 나는 다시는 안 돌아 올 거야. (겨)

na-neun dasi-neun an dola o-l_____geo-ya.

私-TOP 二度と-TOP NEG 帰って来る-ADN geos-COP-INT

私は二度と帰って来ないつもりだ。

(62) 나는 꼭 성공할 것이다.

na-neun kkog seonggongha-l_____geos-i-da.

私-TOP 必ず 成功する-ADN geos-COP-DEC

私は必ず成功する。

(63) 그런데 인터뷰에 두 사람 이야기도 쓸 거예요? (햐)

geuleonde inteobyu-e du salam iyagi-do sseu-l_____geo-ye-yo?

ところで インタビューに 二人 話も 書く-ADN geos-COP-POL₂-Q

ところでインタビューに二人の話も書くつもりですか。

以上のように、‘-ㄴ 것이다 (l geosida)’ の文全体は「推量」と「意志」を表し、非現実の事柄に対する話し手の判断・態度によるものであり、不確実な情報を表す形式である。日本語では「概言のムード」(寺村 1984) とされる「だろう」「はずだ」が推量を、「つもりだ」が意志を表す。しかし、いずれにしても話し手が言及する事柄は現実の事柄ではない。従って、日本語の三つの形式は、すべて非現実の事柄に対する話し手の判断・捉え方であると言え、非現実の事柄に対するという点で ‘-ㄴ 것이다 (l geosida)’ に対応しているのである。

5.2 節から 5.3 節までに述べた文末形式を合わせると、モダリティ機能を有する ‘-ㄴ 것이다 (n geosida) / -ㄴ 것이다 (l geosida)’ と日本語との対応関係は、次のようにまとめられる。韓国語では連体形語尾 -ㄴ (n)、-ㄴ (l)

で表される意味の区別が、日本語では形式名詞の区別で表されるのである。

【表 4】文末モダリティ表現 ‘것이다 (geosida)’ と日本語との対応関係

韓国語	日本語
-ㄴ 것이다 (n geosida)	ものだ、ことだ、のだ
-ㄹ 것이다 (l geosida)	だろう、はずだ、つもりだ

6. おわりに

本稿では、韓国語における連体形語尾の使い分けを視野に入れ、韓国語の形式名詞 ‘것 (geos)’ を中心に、日本語の「もの・こと・の」との比較を行い、日韓両言語の統語的・意味的な特徴を明らかにした。

「もの・こと・の」と ‘것 (geos)’ は、ともに広範囲で用いられ、指示機能、名詞化機能、スコープ機能、モダリティ機能といった機能を持つ。一方で、日本語では「もの・こと・の」などの形式名詞を使い分けることにより様々な意味を表すが、韓国語では連体形語尾の使い分けにより様々な意味を表す。類似点が多いとされる韓国語と日本語であっても、連体形がある韓国語と連体形がない日本語では大きな違いを見せており、日韓両言語の統語的な違いが、連体形の有無によるものであることが明らかになった。

参考文献

- 李南姫 (2001) 「現代日本語の「のだ」文の総合的研究」大東文化大学大学院博士学位論文
- 印省熙 (2006) 「日本語の『のだ』と韓国語の『-ㄴ 것이다』—会話文の平叙文の場合—」『朝鮮語研究会』3、朝鮮語研究会編、くろしお出版
- 梅田博之 (1977) 「朝鮮語における敬語」『岩波講座日本語 4 敬語』岩波書店
- 菅野裕臣 (1981) 『朝鮮語の入門』白水社
- 金廷珉 (2008) 「日韓語の名詞化の談話・語用論的機能に関する対照言語学的研究—「のだ」と「것이다 (KES-ITA)」を中心に—」東北大学大学院博士学位論文

- 久野暲 (1973) 「ノデス」『日本文法研究』大修館書店
- 久野暲 (1983) 「否定辞と疑問助詞のスコープ」『新日本文法研究』大修館書店
- 佐治圭三 (1991) 『日本語の文法の研究』ひつじ書房
- 佐治圭三 (1993) 「「の」の本質—「こと」「もの」との対比から」『日本語学』12-10、
明治書院
- 宋承姫 (2000) 「日本語の「もの (だ)」「こと (だ)」「の (だ)」と韓国語の「것 (이다
/geos (ida))」に関する対照研究—「文法化」の観点から—」広島大学大学院博士学
位論文
- 田野村忠温 (1990) 『現代日本語文法 I 「のだ」の意味と機能』和泉書院
- 田野村忠温 (1993) 「「のだ」の機能」『日本語学』12-11、明治書院
- 崔眞姫 (2005) 「『のだ』の文法化と機能別必須性に関する研究」新戸学院大学大学院博
士学位論文
- 丁仁京 (2008) 「韓国語の文末表現「것이다」のスコープ機能」『朝鮮学報』第 208 輯、
朝鮮学会
- 丁仁京 (2010) 「韓国語の形式名詞 ‘것’ に関する研究—冠形詞形語尾の意味機能との
関連から—」『日韓言語学会議—韓国語を通じた日韓両国の相互理解と共生—』
麗澤大学言語研究センター
- 丁仁京 (2012) 「現代韓国語の形式名詞 ‘것 geos’ に由来する諸形式の研究」麗澤大学
大学院博士学位論文
- 丁仁京 (2014) 「韓国語の連体修飾節名詞句の語彙化—日本語との比較—」『言語と文明』
12、麗澤大学大学院言語教育研究科論集
- 坪根由香里 (1994) 「『ものだ』に関する一考察」『日本語教育』84、日本語教育学会
- 坪根由香里 (1995) 「「ことだ」に関する一考察—そのモダリティ性を探る—」『ICU 日
本語教育研究センター紀要』5、ICU 日本語教育センター
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味 II』くろしお出版
- 中右実 (1994) 『認知意味論の原理』大修館書店
- 中島仁 (2012) 「用言の連体形と連体節をめぐって」、野間秀樹編著 (2012) 所収
日本語記述文法研究会編者 (2003) 『現代日本語文法 4 第 8 部モダリティ』くろしお
出版
- 野田春美 (1997) 「「の (だ)」の機能」日本語研究叢書 9、くろしお出版

- 野間秀樹 (2012a) 「文法の基礎概念」、野間秀樹編著 (2012) 所収
- 野間秀樹 (2012b) 「待遇表現と待遇法を考えるために」、野間秀樹編著 (2012) 所収
- 野間秀樹編著 (2012) 『韓国語教育論講座 第2巻』くろしお出版
- 原田登美・小谷博泰 (1990) 「日本語の「もの」「こと」」『国文学特集』84、甲南大学紀要文学編
- 堀江薫 (2005) 「日本語と韓国語の文文化の対照—言語類型論の観点から—」『日本語の研究』1-3、日本語学会
- 森田良行 (1980) 『基礎日本語2』角川書店
- 吉川武時編 (2003) 『形式名詞がこれでわかる』ひつじ書房
- 국립국어원 (2005) 『외국인을 위한 한국어 문법 1』커뮤니케이션북스
- 김기혁 (2000) 「지정의 문법 범주」『이중언어학』17、二重言語學會
- 金完鎭 (1957) 「-n, -l 動名詞의 統辭的 機能과 發達에 대하여」『國語研究』2、國語研究會
- 南基心 (1978) 『國語文法の 時制問題에 關한 研究』國語學研究選書 6、塔出版社
- 南基心・高永根 (1985) 『표준국어문법론』塔出版社
- 문숙영 (2009) 『한국어의 시제 범주』國語學叢論 66、太學社
- 박재연 (2009) 「한국어 관형사형 어미의 의미 기능과 그 문법 범주」『한국어학』43、한국어학회
- 徐正洙 (1978) 「‘르 것’에 대하여— ‘겠’과의 대비를 중심으로—」『國語學』6、國語學會
- 徐泰龍 (1980) 「動名詞와 後置詞 {은} {을}의 基底意味」『震壇學報』50、震壇學會
- 신선경 (1993) 「‘것이다’ 구문에 관하여」『國語學』23、國語學會
- 沈在箕 (1979) 「冠形化의 意味機能」『語學研究』15-2、서울大學校語學研究所
- 안주호 (1997) 『한국어 명사와 문법화 현상 연구』한국문화사
- 李基白 (1982) 「同格代用依存名詞 {것}에 대한 史的 研究」『어문논총』16、경북대학교
- 李南淳 (1981) 「현대국어의 시제와 상에 대한 연구」『國語研究』49、國語研究會
- 李崇寧 (1975) 「中世國語의 ‘것’의 研究」『震壇學報』39、震壇學會
- 李翊燮・任洪彬 (1983) 『國語文法論』學研社
- 李周行 (1988) 『한국어 의존명사의 통시적 연구』한샘
- 임동훈 (2008) 「한국어의 서법과 양태 체계」『한국어 의미학』26、한국어 의미학회

- 임동훈 (2009) 「‘-을’의 문법 범주」『한국어학』 44, 한국어학회
- 任洪彬 (1982) 「선어말 {더}와 단절의 양상」『冠嶽語文研究』 7, 서울大學校國語國文學科
- 임흥빈 (1988) 『국어 문법의 심층 1』 태학사
- 張京姬 (1985) 『現代國語의 樣態範疇 研究』 塔出版社
- 鄭鎬完 (1987a) 『중세국어 의존명사 연구』 형설출판사
- 鄭鎬完 (1987b) 『후기 중세어 의존명사 연구』 학문사
- 최동주 (1995) 「國語 時相體系의 通時的 變化에 관한 研究」 서울대학교 박사학위논문
- 허용 (1987) 『국어 때때김법의 변천사』 샘문화사
- 洪起文 (1947) 『朝鮮文法研究』 서울新聞社
- Bybee, J. & S. Fleischman (eds.) (1995), *Modality in Grammar and Discourse*, Amsterdam, John Benjamins
- Chafe, W. (1995) ‘The Realis-irrealis Distinction in Caddo, the Northern Iroquoian Language, and English’, In Bybee, J. & S. Fleischman (eds.) (1995)
- Josephs, L. S. (1976) ‘Complementation.’ In Shibatani, M. (ed.), *Syntax and Semantics* 5, Academic Press.
- Lee, H. S. (1991) ‘Tense, Aspect, and Modality : a Discourse-Pragmatic Analysis of Verbal Affixes in Korean from a Typological Perspective’, Ph. D dissertation, UCLA.
- Mithun, M. (1995) ‘On the Relativity of Irreality’, In Bybee, J. & S. Fleischman (eds.) (1995)
- Mithun, M. (1999) *The Languages of Native North America*, Cambridge : Cambridge University Press.
- Palmer, F. R. (2001) *Mood and Modality*, 2nd edition, Cambridge University Press.

用例の出典 (略号は가나다順)

세종말물치 『21세기 세종계획 최종 성과물』 문화관광부·국립국어원 (2007): (꽃)「꽃 그늘 아래」이혜경 (2002) / (꿈)「꿈꾸는 마리오네뜨」권지예 (2002) / (냉)「냉장고」김현영 (2000) / (노)「노파의 오찬」강추자 (未詳) / (덕)「덕혜옹주」정복근 (未詳)

/ (마) 「마법성의 수호자, 나의 깨끗한 들께」 복거일 (2001) / (멋) 「멋진 한세상」 공선옥 (2002) / (미) 「미술관 옆 동물원」 이정향 (1998) / (영) 「0 의 도시」 오태영 (未詳) / (저) 「저녁 식사 #2」 (對話 / 日常) / (토) 「토지 4」 박경리 (1993) / (햄) 「햄릿의 연인」 김지혜 (2001) //

KBS 드라마시나리오 (<http://www.kbs.co.kr>) : (거) 「거침없는 사랑」 (2002) / (겨) 「겨울 연가」 (2002) / (고) 「고독」 (2002) / (동) 「동물원 사람들」 (2002) / (아) 「꽃 보다 아름다워」 (2004) / (찹) 「찹레꽃」 (2003) //

小説 : (긴) 「긴 하루」 구광본 (2006) / (비) 「비치보이스」 박민규 (2006) / (삼) 「삼풍백화점」 정이현 (2006) / (열) 「열한번째 사과나무」 이용범 (2001) //

略語とその意味

ACC : Accusative particle (対格助詞), ADN : Adnominal modifier suffix (連体形語尾), COP : Copula (指定詞), DEC : Declarative suffix (平叙文表示形式), FIN : Final form (終助詞), IM : Imperative suffix (命令文表示形式), INT : Intimate suffix (非格式体非丁寧形), NEG : Negative (否定), NM : Nominative particle (主格助詞), POL₁ : Formal Politeness suffix (格式体丁寧形), POL₂ : Informal Politeness suffix (非格式体丁寧形), PRE : present (現在・非過去), PST : Past tense and perfect aspect suffix (過去表示形式), Q : Question marker (疑問表示形式), REM : Reminiscence suffix (回想表示形式), SH : Subject honorific suffix (主体尊敬語尾), TOP : Topic-contrast particle (主題助詞)